

はやぶさ2

～技術の追究と工学的な美～

日本の小惑星探査機はやぶさ2は、6年間52.4億キロメートルの宇宙の旅を完遂し、2020年に小惑星リュウグウの欠片を地球に持ち帰りました。

宇宙探査機は工学技術の結晶です。性能を追究し設計を磨き上げていくと、自然とそこには美が宿ります。

到着して判明した人類未踏の天体リュウグウは、造形美の極

致のようなフォルムの天体でした。

美しさとは裏腹に非常に険しい環境であったリュウグウに着陸を成功させるに至るプロジェクトチームの奮闘は、その所業そのものが芸術作品のようでした。

本講演では、はやぶさ2の宇宙の旅を追体験しながら、工学的な美の世界へと皆さんをいざないます。

2025年 **11月18日** 火 18:00～

■会場 **アイアート株式会社**

東京都港区新橋5-14-10 新橋スクエアビル3F

■申込方法

メール info@ja2pa.or.jp

電話 03-3528-6362(電話受付時間:平日10時～18時)

※各DMでも承ります!

■聴講料 500円(要申込)



Special talk

■講師

津田 雄一 Yuichi Tsuda

東京大学工学部航空宇宙工学科卒業、

東京大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士課程修了。

小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトマネージャとしてミッションを成功に導き、帰還カプセルの地球帰還後はプロジェクトの全体の総括・後継計画の立案にも携わる。

現在JAXA宇宙科学研究所 副所長。多分野連携による新たな宇宙科学の発展に尽力。

